

「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」更新案についての地域説明会概要  
(東寺方)

開催日時 平成28年10月13日(木) 18:30~20:30

開催場所 東寺方地区市民ホール(東寺方複合施設) 第1会議室

参加者 52人(うち職員・議員11人)

【質疑・意見交換(概要)】 (○…参加者、⇒…市の回答)

○パワーポイントの資料26ページ・一番上の「本プログラムの決定(更新)」の項目が現在と見て良いか。

⇒本プログラムは、市として大きな方向性を決定するものである。市民の皆さんに取組状況をお伝えするために政策情報誌を全戸配布するほか、各施設で取組みの具体化に向けた説明会・意見交換を重ねながら、取組みを進めていきたい。フローの中で、【民間活力活用以外】、【民間活力活用の場合】とある。市が公共施設を建設して運営する「公設公営」、民間事業者の資金等を活用して施設を建設・運営する「民間活用」という考え方がある。いずれの手法にしても、条例・予算等の議会の議決などの手続きを踏まえて、取組みを進めていく。今回の各論では、一旦立ち止まるとした施設があるが、様々な周辺環境の変化も見定めた上で、市民の皆さんとの対話をしながら進めていく考えである。

○東寺方複合施設については、大規模改修時期である平成35年度までそのままにしておくのか。

⇒建物全体の考え方については、(仮称)和田・東寺方周辺地域コミュニティセンターのように、地元住民で構成された建設協議会の皆さんと話し合っただけで検討していく想定である。周辺環境を見定めながら検討していきたい。平成35年度が大規模改修の時期になるが、おそらく平成33年度頃から話し合いを開始すると考えている。なお、東寺方学童クラブは、平成28年度末に第二小学校敷地へ移転する予定である。

○東寺方複合施設を一旦立ち止まることにしたならば、市民からどのような声があり、市はどう思っているかを聞きたかった。廃止よりも、むしろ施設をもっと拡大すべきではないか。(仮称)和田・東寺方周辺地域コミュニティセンターは、東寺方地域の人には行きにくい場所である。

⇒学童クラブは第二小学校に移転するが、その他の施設については、周辺環境の変化や、(仮称)和田・東寺方周辺地域コミュニティセンターができることで人の流れがどのように変わるか等を全体的に勘案した上で、地域の皆さんのご意見を伺って進めたいと考えている。

○東寺方複合施設は、平成35年度まではどのような改修をする予定なのか。

⇒大規模改修の目安は平成35年度であるが、それまでの間は、維持補修、メンテナンス程度で、大きな改修は予定していない。

○東寺方複合施設を中心にして、東寺方地域のコミュニティ活動が培われてきた。地域のコミュニティを存続させるために、是非施設を継続してほしい。

⇒ご要望として承る。

○都営住宅の建替えがあると、どのように変化すると認識しているのか。

⇒ニュータウン開発当初の都営住宅は、エレベーターがなく、段差も多い。都営住宅は福祉の側面もあり、低価格の住宅を一定供給していく必要がある。旧西永山中学校跡地を都営住宅の建替え種地として活用する予定だが、障がい者通所施設及び高齢者の小規模多機能型居宅介護施設を合築する予定である。建替えにより、福祉の面も兼ね合わせることができ、コスト面でも市単独で建設するよりも低価格で、かつグレードも高いものができる。今後も、都営住宅の建替えだけでなく、様々な施設更新も含めて検討していきたい。

○東寺方複合施設と、和田・東寺方・愛宕地域の都営住宅の建替えはどのような関連があるのか。

⇒和田・東寺方・愛宕地域の都営住宅については、東京都から具体的な計画が来ていないが、エレベーターの設置、バリアフリー化等の工事を行い、現在よりも高層化することが考えられる。学校跡地を活用し、将来建替え用地と交換する創出地を計画的に活用することで、まちの活性化を図っていくように検討していく。街の様相が変わることで、地域の児童館や集会所等の機能をどうするか、今後の施設のあり方を検討する時期が来る。東京都から計画の概要が示された段階で、この地区でどのような機能が必要か等を、地域の皆さんと話し合いをしていきたい。東寺方複合施設を取り壊し、土地を民間事業者等に売却することは考えていない。街がどのように変化するか、想定がまだ見込めないため、一旦立ち止まることとした。

○和田・東寺方・愛宕地域の都営住宅の建替えは、いつ頃から開始される予定なのか。

⇒現在、諏訪の都営住宅が進んでいるが、並行して動き出すようである。建替えにあたっては、旧西愛宕小学校用地を種地として活用するよう考えている。現在、敷地関連の調査を行っており、工事着手は早ければ平成31年度頃になると東京都から聞いている。

○（仮称）和田・東寺方周辺地域コミュニティセンターは、どうしてこのような名前になったのか。

⇒（仮称）和田・東寺方周辺地域コミュニティセンターの周辺地域の方から、かねてからコミュニティセンターを作ってほしいと要望を受けており、多摩市をゾーニングして、コミュニティの場を作っていく中で用地を確保していた。地域住民で構成する建設協議会や運営協議会の皆さんからご意見を伺い、施設建設に至っている。名称は、ゾーニングをした中での仮称である。東寺方複合施設については、今後、周辺地区が大きな環境変化があり、周辺状況も変わると考えられるため、それらの状況を見定めて検討していきたいと考えている。

○プログラム策定時、東寺方複合施設は「跡地は将来の需要に対応するための種地とします」となっていたが、この方針は撤回するのか。

⇒土地は市の所有であり、民間事業者売却することは全く考えていない。しかし、市の予算だけで建設や運営するのは難しい部分があるため、民間事業者との連携手法が考えられないか、市と民間事業者の双方がメリットになるような手法が考えられないかを検討していきたい。民間事業者と何らかの連携ができれば、より良い施設になる可能性があるのではないかと考えている。

- （仮称）和田・東寺方周辺地域コミュニティセンターは、複合的な機能が併設されるのか。
- ⇒建設にあたり、地元住民の方からご意見を伺い、要望を取り入れて設計した。施設内には、子どもたちが使えるスペース、新聞や本が読めるブラウジングコーナー等を設置する予定である。
- コミュニティセンターは団体利用が多いが、団体に加入していない市民も多い。地元の人でも施設を利用しない人がいのではないか。地域の図書館を充実させることが必要である。
- ⇒コミュニティセンターは団体登録をして利用することとなる。（仮称）和田・東寺方周辺地域コミュニティセンターの計画では、読書・雑誌コーナーを設けてほしいとの要望を受けてコーナーを設けた。また、地域に密着した図書館を多く作ってほしいとのご要望だが、財政的に難しいが、本の貸出がもっと便利になるように、図書館本館・地域館とのネットワークを再検討・再構築し、利便性を向上させることが必要だと考えている。
- 東寺方地区は、老人福祉館、図書館、学童クラブ、保育園、スーパー、総合体育館等があり、地域の一大コミュニティの場として模範になる地域である。（仮称）和田・東寺方周辺地域コミュニティセンターは、遠いのでおそらくあまり行かない。東寺方地域住民の居場所・相談場所となり、多世代の交流ができる施設は非常に重要な場所で、地域の中核となる場である。廃止すると地域の人々の生活が変わってしまう。平成 35 年度以降もぜひ施設を存続してほしい。
- 東寺方複合施設の土地が市の所有ならば、消防団詰所、集会所機能も備えて、大きな施設を建てて複合化し、地域の一大拠点としてはどうか。
- ⇒今後の状況を見据えた上で、地域の皆さんの要望も伺いながら検討していきたい。
- （仮称）和田・東寺方周辺地域コミュニティセンター設計の段階で、図書館機能はないが、図書の返却等をするかが議題になっていたと思う。本を自由に見て触れ、気軽に接することができる環境は非常に重要であり、その拠点が多くあることが必要である。図書の返却機能と雑誌コーナーだけでは、その機能にはならない。図書館を廃止しないでほしい。
- ⇒本の貸し借りができる機能をコミュニティセンターに配置することは将来的な検討課題だと考えている。図書館の看板はないが、居場所機能は持たせているとの話である。
- 図書の貸し借り機能だけでは、本当に必要な人へ本が届かない。その本の存在すら知らなければ、借りたいと思える状況にならない。図書館ではなく、本の貸し借り機能だけで十分だと考えた市の姿勢は誤りではないか。
- ⇒市としても、本に触れることは大切だと考えている。すべての子どもが本を手に触れられるような環境が必要である。現在、すべてのお子さんが歩いていける場所に図書館はない。その意味では、近くの施設で本を予約すれば、遠い図書館に行かなくても手に入れることができる環境が必要であり、そのような場が増えることが必要だと考えた。その拠点が増えるほど、本が身近な存在になるのではないか。違う手法も取り入れながら選択肢を増やす、その場を増やすことが必要ではないかと考えている。
- 子どもたちから本を取り上げないでほしい。次世代を担う子どもたちが、気軽に本を手

に取れる、ほしい本が見つからない時には職員に相談できて取り寄せができる、多摩市中の本が手に入る地域図書館は絶対に必要である。他自治体で、図書館は歩いて 15 分の位置にあるのが理想とする所もあり、多摩市も見習ってほしい。図書館廃止の発想はどこから出たのか。

⇒図書館は大事な施設であると考えている。図書館の維持、スタッフの確保、本の購入費用の捻出等の課題を検討する中で、図書館機能を集約するという考え方が出てきた。図書館が大事だからこそ見直すという考え方があった。現在、図書館のあり方について策定委員会が検討しているが、その結果を待って、今後あり方について検討するということもあって「一旦立ち止まる」とした。

○東寺方学童クラブ以外の施設は、このまま東寺方複合施設に残ると理解してよいか。

⇒未来永劫ということではないが、平成 35 年度が一つのタイミングになると考えている。

○東寺方地区の中心に東寺方複合施設を設置した市の判断は良かった。(仮称)和田・東寺方周辺地域コミュニティセンターができるから廃止するのではなく、地域住民の絆も深い拠点施設を残してほしい。企業を誘致し、日本一素晴らしい施設を作してほしい。

⇒ご意見・ご要望として承る。

○児童館職員は、限られた条件・環境の中で非常によくやっている。平成 35 年度の大規模改修までの間は、施設の行事や職員が減る等の状況はないか。

⇒児童館のいくつかは、子育て支援を行う地域の身近な拠点となる「地域子育て支援拠点」として、更に機能を高めるよう順次改修している。また、一部の児童館では日曜開館をしており、限られた職員体制の中で対応しているが、職員のシフトの状況によっては数が少なく見えることもあると思う。また、これまで行ってきたイベントもニーズによって見直しが必要になってくる可能性もある。現状と全く同じ状況で、今後も維持するとは言えない。全体の枠組みの中で、見直しをしていくということもある。

○(仮称)和田・東寺方周辺地域コミュニティセンターに図書館を付けることはできないのか。

⇒建設協議会の皆さんと話し合いを重ねて、既に設計が終わっている。ここから施設を大きく変えることはない。

○かつて、東寺方小学校生徒の保護者を対象として、市職員が子育て施設に関する説明をしたことがあるが、今回の更新案についての説明会は予定しているのか。

⇒現在は保護者向けの説明会は予定していないが、個別で調整させていただきたい。

○子育て中の親は、平日の夜は説明会には出られない。本日、東寺方小学校保護者から要望を預かってきたので読み上げる。

①東寺方複合館を、今後も地域の大切な交流の場として、維持・存続していくことを切望する。このような場所が、地域住民の声を聞かずに廃止され、地域住民を混乱させることになった市の判断は正しいと言えるのだろうか。

②災害時には、日常的に慣れ親しんだ場所は、地域の救助支援活動の場として重要な拠点となる。

③説明会は、平日夜間の開催だと、働くお母さんたちは参加できない。土日にも開催してほしい。

⇒3点目については、調整させていただきたい。

○各論は毎年度更新し、到達した内容を翌年度に公表するとのことだが、到達とは何か。

年度ごとの更新はどのようなイメージで行うのか。地域住民と市が意見交換する場は設けられないか。

⇒各論では全ての公共施設を掲載していることから到達点と表現したが、東寺方複合施設については平成35年度までに対話をしていく考えである。各論では施設ごとに、当初の計画どおり進んだかについての状況を公表していきたい。

○市は策定からこれまでの進め方を反省してほしい。ほとんど市民が誰も知らない状況の中で、急に施設廃止の情報が知らされ、地元住民による大混乱の末に署名活動が起きた。

平成35年度以降の取組みを検討する際には、今回の反省をしっかりと生かしてほしい。

⇒ご意見として承る。

○地域図書館の廃止は、いつ、何のデータを元にして決めたのか。総論28ページに掲載されている市民アンケートでも、「なくなってしまった場合に生活に影響が出る施設」として図書館が上位になっている。この結果を全く生かしていない。複合館の利用人数を把握した上で計画を策定したのか。

⇒平成25年11月のプログラム策定時に地域図書館を廃止する方向性を出す際には、教育委員会とも協議した上での結果だった。今後の図書館がどうあるべきか、人や予算が足りるのか、持続できるのか等を検討する中で、地域図書館の集約もやむを得ないとの意見をいただいた。その後、市民の皆さんから様々なご意見・ご要望をいただき、見直すこととなった。

⇒平成27年度から政策情報誌を発行し全戸配布しているが、知らない市民も多い。7～8月にかけて説明会、地域での説明会を開催し、多くの方のご意見を伺った上で判断することとし、プログラムの決定も11月にずらすことにした。今後、公共施設は市民の皆さんの税金で賄っていただかなくてはならない。施設があるからこそ、他のサービスを我慢しなければならない場面も出てくると思う。だからこそ、皆さんの意見を伺ってきたい。東寺方複合施設は、話し合いが始まるまで多少時間があるが、今後、現状を地域の皆さんにお伝えしながら、どのような機能が必要か、話し合う場を設けていきたい。

○今回の更新案では、パブリックコメントの意見だけでなく、本日の説明会の意見・要望等も反映されるのか。

⇒パブリックコメント、説明会でのご意見・ご要望等も含めて検討し、プログラムを決定していきたい。説明会の質疑の概要は、ホームページで公表する予定である。